

令和2年度 主要事業等

予算額
(単位：千円)

当初予算概要
ページ番号

新規 大村家住宅リノベーション事業費（令和元年度補正） 158,500

大村博士の生家である「蛍雪寮」は、セミナーなどに利用されており、さらに移住希望者が田舎暮らしを体験できるなど、幅広く利活用できる施設とするため、蔵も含めたリノベーションを実施する。

新規 小中学校ICT環境整備事業費（令和元年度補正） 72,876

国が推し進めるGIGAスクール構想に則り、1人1台端末整備の基盤となる校内通信ネットワークなどのICT環境の整備を行う。

新規 東京オリンピック・パラリンピック関連 (3,700) P 66

東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーの応援や、本市出身の文田健一郎選手がレスリング グレコローマン60kg級に出場するため、壮行会や現地での応援、市内でのパブリックビューイングを開催する。

新規 民間宅地開発促進事業費 4,400 P 77

住宅用地の供給を促進し良好な住環境整備を推進するため、分譲用宅地として開発整備を行う民間事業者及び土地所有者に対し、助成を行う。
事業者 300千円/区画（開発面積1,000㎡以上、用途区域内、上限4,500千円）
土地所有者 1,000円/㎡（上限1,000千円）

新規 母子健康教育事業費 1,391 P 30

電子母子健康手帳としての活用や子育て支援情報の配信を行う子育て支援アプリを導入する。

新規 社会福祉事務費 584 P 50

保育園の巡回相談に臨床心理士を派遣し、発達障がいの早期発見や関係者への助言を行う。

新規 健康ポイント事業費 2,005 P 62

市民のウォーキング意識の高揚やポイント対象事業の充実のため、中央公園内を周回するウォーキングコースに看板等を設置する。

新規 観光振興事業費（観光協会補助金） 15,055 P 91

柔軟で自由な発想による観光施策の推進を図るため、葦崎市観光協会を一般社団法人化し、組織や運営体制を強化する。

新規 美しいまちづくり事業費 919 P 74

特定外来植物であるオオキンケイギクに関する勉強会と実技講習会を開催する。

新規 小中学校運営事業費 10,867 小学校 P 36
中学校 P 39

災害発生時は、児童、生徒は保護者に引き渡すことを基本とするが、引き渡しができない場合、校内において待機となるため、備蓄品として、食料、飲料水、アルミブランケット、災害用トイレを購入する。(3,306千円)

教員の多忙化の解消と児童、生徒に分かりやすい教材作成のため、各校に高速カラー印刷機を導入する。(7,561千円)

新規 災害対策関連 (69,434) P 69
P 36
P 99

ブルーシートや避難所用段ボール間仕切り、段ボール製シートを購入する。(926千円)

災害時に避難所となる小学校体育館のトイレを洋式に改修する。(6,688千円)

災害対策本部が置かれる市庁舎の非常用電源を3日間使用可能とするため、発電機を更新する。(61,820千円)

新規 消防団関連 (6,384) P 68

災害等により出動が増加している消防団員の報酬を増額する。(増加額4,327千円)
災害時の被害状況収集などに活用するためドローンを購入する。(操作研修費用を含む)(2,057千円)

継続 赤ワインの丘ブランド化推進事業費 4,480 P 87

本市特産のワイン、ぶどうの知名度を高め、地元産ワインのブランド化と消費拡大につなげるため、ワインセミナーや春と秋にワインフェスティバルを開催する。また、ワイン原料用ぶどう棚の設置費への補助を行い、多方面から施策を展開をする。

継続 地域体育館建設事業費 235,638 P 67

建築から約50年を経過する地域の3体育館について、市民スポーツや文化の振興、避難所としての機能の充実を図るため、計画的な建替えを行う。

令和元年度 ・中田屋内運動場建設工事等

令和2年度 ・円野屋内運動場建設工事等

継続 総合運動場整備事業費 60,109 P 67

整備後40年以上が経過している市営総合運動場の整備に向けた調査等を行う。

令和元年度 ・「市営総合運動場整備基本構想・基本計画」策定

令和2年度 ・現況測量・地質調査等